



平成 26 年 を 迎 え て



Q1. 昨年を振り返ってどうでしたか？

A1 : 皆様のご支援のもと、議員在職7年目となりだいぶ慣れてきました。落ち着いて今まで歩んできた道と、これから歩むべき道を考える一年となりました。

Q2. 本年への意気込みは？

A2 : 遅くなったのですが、昨年NHK大河ドラマ『龍馬伝』をDVDで観ました。大政奉還・明治維新を成し遂げる若者達の熱意や執念を強く感じました。今こそ、地方から声を挙げ、国を動かしていきたいです。(特に医師不足問題)

Q3. 最近の取り組みは何ですか？

A3 : これからのまちづくりです。
富士山の恵みを活用しての産業づくりと、それに伴う土地活用のあり方です。



1. 産業づくりについて

雇用を創出し定住人口を安定させること。特に若者世代の人口流失を防ぐことが重要です。ここ5年間で労働人口が約4000人減少し、その中の1000人は就職世代の若者たちです。

2. 土地の活用について

都市計画法や農地法等の大胆な見直しが必要だと考えます。特に富士宮市にとっては主要道路沿いの活用が必要です。当然守る規制強化も必要です。東日本大震災の復興の問題や東京オリンピック開催にあたり、既存の法律の問題があります。今こそ第二次日本列島改造論が必要ではないかと思えます。



9月定例会

一般質問 富士宮市総合計画について

- 望月：富士山が世界文化遺産となり、まちづくりに影響してくるのではないかと？
- ◇ 部長：富士山をまちづくりの根幹に据えてこれまでも考えてきているので、現行の総合計画や土地利用にも当然富士山を意識した内容になっている。
- 望月：現市政の役割として将来を見据え、まちづくりの方向性を明確にする必要があるのではないかと？
- ◇ 市長：なるべく早い段階で考え方をまとめたい。来年度には素案を作るよう事務方には指示をした。

決算審査特別委員会

- 望月：土地取得特別会計の今後について伺う。
- ◇ 部長：基金からの貸付分の返済が終わり、余剰土地の処理については特別会計の解散も含め検討する。
- 望月：庁内体制として、決算調整部門（出納室）と政策調整者（企画）や財政計画者（財政）の連絡調整をどの様にしているのか。
- ◇ 部長：常に決算がどのようになるのか気にしている。立場により主張が異なるものを調整して、政策実行していくことが我々の仕事である。ご指摘の事も意識して行く。

11月定例会

一般質問 富士宮市の経済状況と財政運営について

- 望月：市内企業の経済動向はどうか。
- ◇ 部長：医療品や医療機器及び食料、金属加工機械、住宅関連機器は生産額の底上げを図っている。製造出荷額は7440億円と前年比1000億円増となっている。
- 望月：労働人口の動向はどうか。
- ◇ 部長：国勢調査における結果は、5年間で4000人減少している。平成22年で82933人の労働人口である。
- 望月：18歳と22歳の進学世代の帰郷動向は。
- ◇ 部長：高校卒業年齢から大学進学年齢では、約200人の減少がみられる。大学卒業時には人口が増えていない。富士宮へ戻ってきてもらえるようなまちづくりや雇用創出が必要。

雇用を確保することが
将来の税収や人口問題
公共施設の再投資等の
財政運営をする上で
重要である。



活動報告

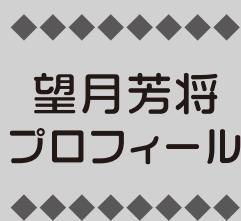
献血運動推進

毎年2回お正月と秋に献血運動を行っています。多くの皆様のご理解とご協力に感謝します。



キング・オブ・ヒルクライム富士山 開催

平成25年9月29日、篠坂をスタートに富士山新5合目までのコースで行われました。選手は市外県外を中心に1000人余が参加し、自慢の自転車に乗車し競い合っていました。



望月芳将 プロフィール

S52.8.12生まれ 大宮小、二中、富士宮北高 卒業
平成12年帝京大学理工学部 卒業
富士宮にて就職し、青年活動やNPO活動に積極的に参加
H19.4 富士宮市議会 議員初当選 29歳
H22.5 富士宮市議会 環境厚生委員会委員長
H23.2 富士宮市議会 予算審査特別委員長
H24.5 富士宮市議会 総務文教委員長

